

志木小学校だより

平成30年度12月号



学校地域教育目標

明るくあいさつのできる子
地域を大切にする子

思いやりのある子
意欲的に学ぶ子

12/1児童数 719名

時間を無駄にしないために！ 「機会費用」の考え方！

校長 坂口 栄二



校庭のイチョウ

朝晩だけでなく、日中も寒さが厳しくなり、冬がいよいよやってきたと感じます。12月は、インフルエンザも流行し始める月でもあります。体調管理をしっかりとし、1年間のまとめをするとともに、新しい年を迎える準備を計画的にしたいものです。

さて、12月は何かとあわただしい月です。そのあわただしさの中で、いかに効率的に動くかを考えることは、とても大切なことです。しかし、とても難しいことでもあります。

時は金なり

「時は金なり」ということわざがあります。このことわざは、アメリカの建国の父とも呼ばれる政治家ベンジャミン・フランクリンが言った「Time is money (タイム イズ マネー)」に由来します。

意味は「時間はお金と同じくらい貴重で大切だ」ということです。言い換えれば、「時間を無駄にせず、有意義に使うことが大切だ」ということです。

「あーあ、時間を無駄にしてしまったな」と思うことはありませんか。私も時間を有意義に使いたいと常々思っているのに、時間を無駄にしたと思うことがよくあります。

フランクリンは「時間を無駄にするのは周囲のせいではなく、自分が選択している行動が原因だ。自らが利益になるための行動をおこせ」ということも言っています。

では、時間を無駄にしないためにはどうすればいいのでしょうか。そのヒントになるのが「機会費用」という考え方だと私は考えています。



機会費用とは？

機会費用とは、経済学上の理論で、「他の選択肢を選択していれば得られたであろう最大の利益」のことをいいます。ある行動をした時に、別の行動を選択していれば本当は利益が上がる場合があります。この間違っただけで失われた利益のことが「機会費用」です。

この説明では分かりにくいので、自分たちの生活で例を挙げてみます。

家に帰って、翌日にある漢字テストのために漢字の練習をしようか、それともゲームをして楽しもうか迷い、ゲームをして楽しむことを選択したとします。この場合、もし漢字の練習をしていたら翌日の漢字テストで100点が取れたかもしれませんが、練習しなかったために100点が取れないかもしれません。この損失が「機会費用」に当たります。ゲームをして楽しく過ごせたので、何も損をしていない様に思いますが、実は間違っただけで損をしているのです。(もちろん、いつも学習し緊張してばかりではかえって効率が落ちるので、ゲームをしてリラックスすることが必要なときもありますが・・・)



私たちは常に選択に迫られている！

私たちは毎日、様々な場面で選択を迫られています。どのような選択をするかによって得をしたり損をしたりします。その時々には最善の選択をしなければなりません。最善の選択をするためには、自分の行動がどのような結果を導き出すのかを想像する力を身につけることが大切です。

さらに、その想像を基に自分の行動をコントロールできる強い意志をもつことも必要です。その際大切なことは、社会に生きている私たちは、周りの人との関係を考えることです。また、当たり前のことを当たり前に行う「凡事徹底」することも大切です。

日々成長している子供たちには、様々な選択をし、失敗や成功を繰り返しながら最善の選択ができる力を身につけてほしいと願っています。

保護者・地域の方々のあたたかい励ましや支援をお願いします。



リースボール